

## 第3回検討会 作業シート（文化芸術）

## ①今後の課題（文化芸術部会意見）

## 【テーマ（1） 板橋らしい文化（ブランド力）の強化】

- ・絵本は子どもから大人もみんな親しみを持っており、絵本のまちをさらにブランド化すると良い。障がい者の方に点字絵本・さわる絵本もあると良い。
- ・周年交流では、伝統工芸品をお土産に持っていき大変好評だった。他の都市との交流でも活用してほしい。
- ・「絵本×伝統工芸品」など、文化要素の融合で相互の魅力を拡大が期待できる。
- ・絵本を一つのツールとして活用し、区在住アーティストやポローニャ原画展入選者等を絵本づくりに起用してつなげていくと、絵本のまちのブランドもさらに強化される。
- ・人が多く来る場所で伝統工芸展を開催すると認知度も上がるし、発信にもつながる。昨年度、伝統工芸品に関する本を出版したが、多言語化すると海外へもアピールできて良い。
- ・地域の資源、伝統工芸品も含め、その土地で育まれたものに着目することは、ブランド力を推進する上で一番大事。それをうまく活性化させるのは人的なネットワークが必要。
- ・すごく良いものでも知らなければ興味も湧かない。SNS等を活用してもなかなか届かない。やらないよりは良いがどのようにPRを行っていくかが課題。
- ・スマートフォンが普及し、伝統工芸の体験動画を見ただけで体験したつもりになり、実際の体験につながらない。学校授業の中で触る体験や工芸展を見に行くのも良い。
- ・多方面からの同時多発的PRと子どもを巻き込んだ宣伝が効果的。
- ・板橋区の特徴は、印刷・製本を含め、区内で絵本づくりのすべてができること。全国で絵本のまちのような活動をしている自治体と共同して、絵本でいろいろな問題をアピールする取組の音頭取りを区が担うと全国的にも絵本のまちをアピールできるのではないかと。

## 【テーマ（2） 開かれた文化施設の推進】

- ・文化会館小ホールに関しては、利用者側のバリアフリーは進んでいるが、障がい者や高齢の出演者側からすると動線が不便。
- ・文化会館大ホールは利用者からの評価は高い。小ホールは客席と舞台が近く見やすく、使いやすい。民間では大ホール規模のホールがあまりない。一方で区には中規模級のホールがない。
- ・文化会館1階のガラスは外から見ると黒くて暗いため、中に入りづらい雰囲気がある。暑い日などは入口の広場にパラソルを置いて休憩スペースや「本日開放日、誰でも中に入れます。」といったのぼり旗があれば気軽に休憩で立ち寄りやすくなるのではないかと。
- ・文化会館には赤ちゃんの駅がないので、ロビー開放日にはのぼりに加えて、赤ちゃんの駅を臨時で設置すると子ども連れの親子も来てくれるのではないかと。
- ・来館のきっかけとして、赤ちゃんに特化したイベントがあると良い。
- ・毎年、生まれた赤ちゃんを無料招待するコンサートやワンコインで見られる赤ちゃん連れコンサートなどがあると良い。「子どもに優しい、未就学児を育てる家族に優しい板橋区」が一番重要。
- ・区民がものづくりや文化体験などで多くの人が集まり、参加できる体験イベント等を区が企画してくれると区の文化が盛り上がる。区は場所の提供と広報PRを担ってもらえると運営者は活動しやすい

## 【テーマ（3） 文化芸術活動の場や機会の充実】

- ・SNSの普及により、必要な情報を自分で選んで入手する時代になっている。文化芸術に興味のない人も気軽に参加・鑑賞したくなるよう、情報発信の仕方に工夫が必要。
- ・仕事や育児などで忙しく、文化芸術に触れる時間がない人のために、SNSを使った文化芸術体験があると良い。
- ・文化芸術情報を有効に情報発信していくには、他部局との連携、不特定多数の人が利用する駅での情報発信スペースの確保、世代に合わせた情報発信方法の検討が必要である。
- ・ポスターデザインをアーティストバンクいたばしに登録しているアーティストを起用するなど区事業とアーティストバンクいたばしの掛け合わせを推進すると良いのではないかと。
- ・学校教育と連携し、教育の場に文化芸術を浸透させていくことが必要。
- ・文化芸術事業に併せて子どもが興味を持つような内容のイベントを企画し、子どもの親世代も巻き込んで文化芸術に触れるきっかけづくりをする。
- ・影響力のあるマスコミに取材に来てもらい、板橋の文化芸術を広めてもらうのも1つの方法。

## 【テーマ（4） 文化芸術の担い手の育成】

- ・文化芸術に興味を持つ人を増やすために、ワークショップを実施したいが、活動場所の問題や人が集まらないことが課題となるため、教育現場とともに実施できると裾野が広がると良い。
- ・学校側はカリキュラムの中で子どもたちが文化芸術に触れるための枠を確保し、実施内容については各団体で企画するなど役割分担を明確にすることで、教育現場との連携が可能になるのではないかと。
- ・子どもたちにとって夏休みは1番時間がある。その時間を活用し、あいキッズと連携して何か文化体験講座ができると良い。
- ・担い手育成のためには、まずは間口を広げることが必要。その手段としてキャリア教育やマスコミの活用、積極的なアウトリーチ事業の活用がある。
- ・人材を育成するには時間がかかる。小学生から社会人になるまで一貫して学べる環境の整備が必要。
- ・文化芸術に触れ、知ってもらうだけでなく、文化芸術を後世に引き継いでいきたいと思う気持ちのある人をどう育てていくかが重要。
- ・文化芸術の指導や育成には必ずエキスパートが関わっている。専門的な人材から文化を教授する環境をどう作っていくかも1つの視点である。
- ・文化に興味のある人が増えなければ、担い手はそもそも育たない。区民割引の導入、子ども向け文化芸術講座の開催を通して、文化芸術に触れる機会を増やし、人材育成のための土壌づくりが必要。
- ・インバウンドを活用したPRを行うことで話題性を生み、マスコミによる周知を行うのも1つの手ではないかと。

## ②2030年のあるべき姿の検討 ①今後の課題を踏まえた、2030年のあるべき姿の案です。

- 「絵本のまち板橋」をはじめとする特色ある文化芸術が日常に溶け込み、区民のだれもが板橋ブランドとして広く認知し、板橋での暮らしに対する愛着や誇りが醸成されている。
- 「絵本」をきっかけに文化芸術や伝統文化を知り、ふれる人が増え、文化芸術や伝統文化に親しみを感じている。
- 様々な文化芸術を通じて豊かな心がはぐくまれ、人と人のつながりが創造されている。
- 子どもたちが学校教育を通じて、文化芸術や伝統文化にふれて・体験することで次代への継承につながっている。
- 文化施設が開放され、人が集まりにぎわい、誰もが気軽に立ち寄れる地域交流の拠点となっている。

- 行き届いた情報発信により、年齢、国籍、障がいの有無、ライフスタイルに関わらず誰もが文化芸術に触れることができる機会が充実しています。
- 駅や公共施設など日常空間に文化芸術が溢れ、生活している中で自然と文化芸術に触れられる環境が整備されています。
- 児童期から成人期まで一貫したアーティスト育成・支援システムが確立され、文化芸術の未来を担う人材が増えています。
- 教育、産業、観光などの他分野との連携を通して、文化芸術の創造し、担い手となり得るきっかけとなる多彩な文化体験プログラムが充実しています。

## ③施策の方向性の検討 ②2030年のあるべき姿を踏まえた、施策の方向性

## ・「絵本のまち板橋」のブランド及びPR強化

企業や大学との連携、複数部署との組織横断的な事業、子どもに関連する事業など、多くの人が関わり、つながることで多角的に情報を発信し、区内外へのPR効果を高めていきます。また、関連事業と一体的にPRすることで「絵本のまち板橋」に関する事業全体の認知度を高めていきます。

## ・異なる文化同士の掛け合わせ

異なる文化同士を掛け合わせることで他の文化芸術・伝統文化を知る機会となり、相乗効果で新たな魅力へつなげ、ブランド力の強化を図ります。

## ・体験機会の創出と充実

子どもが文化芸術や伝統文化を知り、興味を持てるよう、体験・鑑賞する機会などを創出し、認知度の向上や次代継承への取組を推進していきます。

## ・親しみやすく、開かれた文化施設への取組推進

くつろげるスペース、一目でわかるサイネージの設置や区民が参加したくなるようなイベント実施など、利用者の視点に立ち、気軽に立ち寄れる文化施設に向けた取組を推進していきます。

## ・多様な文化芸術情報の戦略的発信

若者、高齢者、外国人など、ターゲット層に合わせた情報発信を行うとともに、不特定多数の人が利用する駅での文化情報発信スペースの設置、メディアへの積極的なアプローチなどだれもが生活の中で自然に文化芸術に関する情報を入手できます。

## ・ライフスタイルに合わせた文化芸術体験の提供

時間・場所問わず楽しめるデジタル技術を活かしたオンラインコンテンツの充実、親子で楽しめるファミリーイベントの実施、低価格やバリアフリー施設での文化芸術イベント実施による参加障壁の低減などあらゆる背景を持つ人々が気軽に文化芸術に触れることができる環境を整えていきます。

## ・一貫したアーティスト育成・支援システムの構築

担い手育成に取り組む団体への支援やアーティストが文化芸術活動を続けていくための切れ目のない支援体制が充実しています。

## ・誰もが文化芸術の担い手となるための基盤整備

学校教育をはじめとし、他分野との連携強化を図ることで、文化芸術に携わる人が増え、担い手育成のための人材確保につながります。